

17 シーズン技術部活動報告

福岡県スキー協技術部 西村文男

県スキー協総会が2014年9月20日に総会が開催されて以降2年間総会が開催されず、2016年7月23日にやっと総会が開催されて、これまで県スキー協を牽引してきた高野事務局長から私が事務局長を引き継ぎました。

まだ、役員体制も確立してなくて、私がすべてを代行する状況です。

高野事務局長時代に全国連盟費と県連盟費の未納問題があり、2013年度～2015年度の未納金額142,200円を清算したため、県連盟の財政が全く無くなりました。

そういう状況から、全くゼロからのスタートとなりました。

2016年12月3日～4日の中央研修会に私が自費参加しました。

ベーシックパラレルターンの検証については、12月24日～25日のシーズンイン練習会（女鹿平スキー場）では受講者に個人レッスンをしました。また、2017年1月14日～15日の県スノー祭典（瑞穂スキー場）でも受講者に個人レッスンをしました。

県スキー協として、伝達講習会をすることが出来ませんでした。

県スキー協には3クラブあり、「ピノキオ」は1名でボード、「ふきのとう」はSAJの指導員が講習をされていて、私の所属する「となかい」で講習をすることしかありません。

ところが、「となかいの」指導員は北海道ツアーや蔵王ツアー等に仲間内で行って、県スノー祭典には参加していません。

17シーズンはそういうことで、全く伝達研修は組織的にすることが出来ず、個人的にしか出来ずに終わりました。

来シーズンは全国スキー協の援助を受けて、県スキー協として伝達研修会と指導員研修会が出来るようにしたいと思っています。